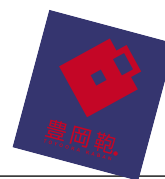




CHALLENGER

[挑戦者たち] 22



TOYOOKA KABAN

豊岡鞆

国内の生産量日本一を誇る豊岡の鞆業界が、「地域ブランド」戦略で時代の荒波に立ち向かう。「モノ作り」から「モノ創り」への転換、千年の歴史、職人の誇りをかけた挑戦が始まった。

ブローグ

国産鞆の年間生産量約450万本、全国の4大産地のひとつとして、日本一のシェアを誇る豊岡の鞆産業。昭和40年代の高度経済成長期には国内需要も高まり、作れば作るだけ売れたという。

さらに、アメリカを中心とした海外輸出も盛んになり、旧豊岡市の人口の約20パーセントの人が、鞆産業に従事するほどの盛況ぶりであった。まさに鞆業界を代表する産地へと成長した時代だった。

しかし、安い海外製品が出回るにつれて、国内製品の需要は徐々に衰退していった。さらにここへバブル経済の崩壊が追いつちをかける。商社や卸売業者は安い労働力、コストを

理由に、鞆の生産を海外に求めた。

「OEM生産」、これは他社ブランドの製品を委託製造する生産方式のこと。豊岡では、多くの企業がOEM生産を主体としている。顧客のほぼ全てが商社や卸売業者であり、一般の消費者ではない。受注は減少し、生産量は全盛期の3分の1まで減っていた。

「このままでは、豊岡の鞆産業に未来はない」。誰もが人知れず危機感を抱いていた。

地域ブランドへの挑戦

「地域ブランドを取得してみないか」。それは当時、兵庫県鞆工業組合の理事長を務めていた高島氏からの提案だった。

「地域ブランド」とは、特許庁が登

発電プラントエンジニア正社員募集

- 新卒[大学・高専・短大・専門 (機械・電気・電子系)]
- 事業概要: 発電所設備の建設及びメンテナンス
- 勤務地: 若狭地域

現在エントリーを受け付けています。詳細はWEBをご覧ください。

大阪市北区本庄東2丁目9番18号
TEL.06-6372-1151 FAX.06-6359-7676
<http://www.kanden-plant.co.jp/>

快適な毎日を支える技術があります

当社はエネルギーと環境を中心とした
プラントエンジニアリング事業で
広く社会に貢献する企業を目指します

 関電プラント株式会社



録査定する地域団体商標制度のことで、平成17年の法改正により、これまで認められなかった「地域名」と「商品名」の組み合わせからなる商標登録が受けられるようになった。

OEM生産ゆえに、決して産地や社名が出ることはなかった豊岡の靴産業。そのため、産地としての顔が見えなくなっていた。流通システムの変化により、産地の見える靴作り、豊岡独自のブランド発信は、生き残りをかける上で必要なことであった。

「豊岡って、かばんの産地だったんですか」。日本一の靴生産を誇るにも関わらず、一般の消費者はおろか、小売店でさえ、豊岡が靴の産地であることを知る人は少なかった。

平成18年4月からの出願受付開始に向けて、準備期間は約1年。プロジェクトメンバーには、次の時代を担う30代〜40代の若手経営者5名が選ばれた。

「チャンスだ。これしかない」。心を揺さぶられるメンバー。「靴産業をなんとかしたい」、思いはひとつだった。

「ちょうど台風災害やコウノトリの放鳥といった大きな出来事があった。豊岡という名前が頻繁にマスメディアに取り上げられていた時期でした。この機会を逃す手はない。豊岡靴を知ってもらえる絶好のチャンスだと思いました」と、今年から地域ブランドプロジェクトの委員長を務める植村賢仁氏は語る。

こうして、「豊岡靴再生」への取り組みが始まった。

「豊岡靴」って何だ

ブランドを確立し、運用していくことは、諸刃の剣である。認知されて信頼を勝ち取れば、産業の活性化につながる。その反面、ひと度信頼を失えば、市場からの反動も大きい。知名度があがるということは、それだけ大きなリスクをかかえることにもなる。地域ブランドの認証と成功への鍵は、しっかりとした運用マニュアルの確立が必要。メンバーの意見は一致した。

「地域ブランドを取ることが目的ではありません。ブランドを活かして、いかに産業を盛り上げていくかが大事。そのためには、運用していく仕組みが整備されていないと、長くは続きません。お客様に信頼されるブランドにはなれないのです」とは、植村氏。

しかし、資料作りに取りかかるにあたって、肝心のコンセプトが浮かん

シンケン勝負! 夢の家づくり

シ アワセクウカン
幸せ空間

ア シン スマイ
安心住まい

ケ ンコウジュウタク
健康住宅

ミン ナマンゾク
みんな満足

新築、リフォームはもちろん、水漏れやトイレ詰まりもお気軽にご相談下さい。

〒668-0015 兵庫県豊岡市一日市1676-17 “暮らし”をトータルプロデュース
TEL.0796-24-6350/FAX.0796-24-9577

冬暖かく、夏涼しく
住宅環境を快適に

アストロ ファイル

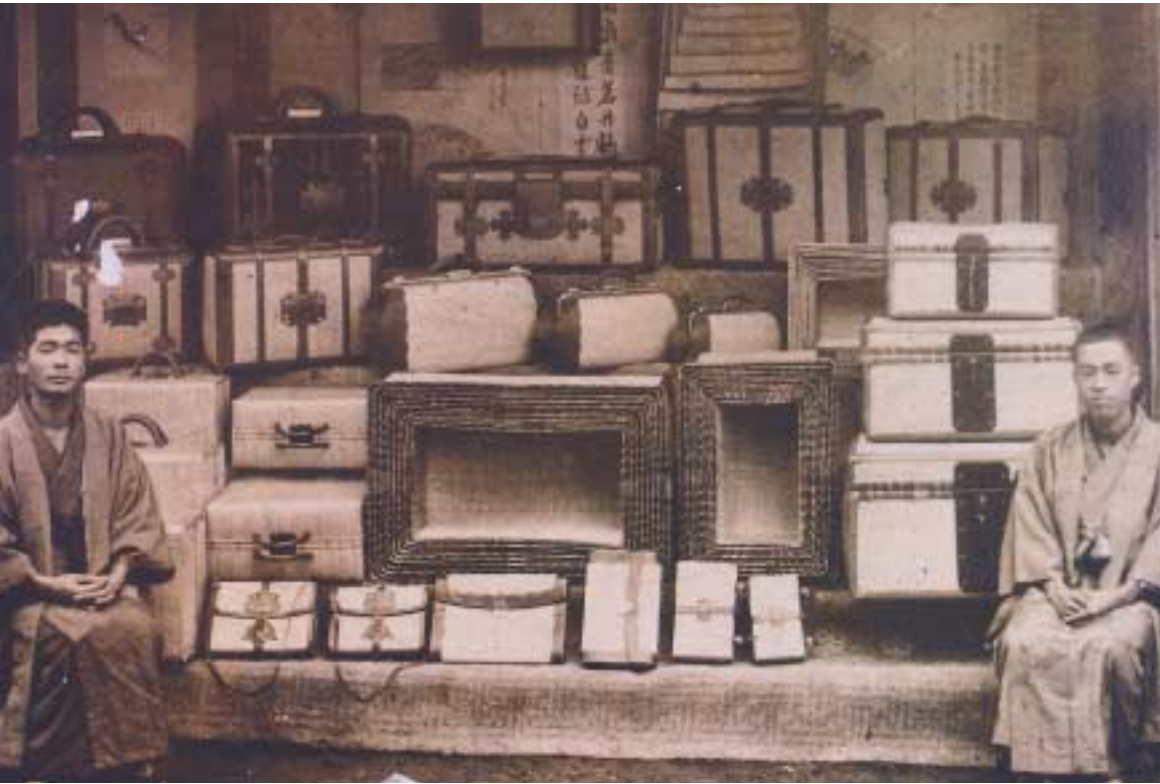
◆アルミ純度99%、反射率97%の遮熱材
◆屋根からの侵入熱量を大幅カット!
◆抜群の費用対効果、エアコン1台不要
◆国交省の不燃材認定試験合格

人に環境に
やさしい家づくり

**お見積り
無料!**

0120-577-406

●一級建築士事務所 第650168号 ●建築設計/工事・住宅設備工事 ●(社)兵庫県宅地建物取引業協会 兵庫県知事免許(1)第650093号 ●測量業



明治33年、パリ万国博覧会の出品を記念して撮影された古写真。豊岡鞆の源流といえる、柳行李をもとに作られた「行李鞆」が並ぶ。

でこない。

豊岡鞆といっても、見た目は他で作られたものと同じ。品質のよい鞆を作るといっても、それだけでは地域ブランドとして差別化することはできない。

「豊岡の鞆はどこが違うの?」。そのヒントは、自分たちのルーツに隠されていた。

千年の歴史と伝統

豊岡が鞆の一大産地となった起源は、奈良時代に始まり、江戸時代にかけて発展した杞柳細工。その技術をもとに、大正末期から昭和にかけて「ファイバー鞆」が作られるようになり、昭和10年頃に豊岡の基幹産業へと発展していった。

毎年8月に開かれる「柳まつり」は、杞柳細工の原料である柳の神様を祀る柳の宮の例祭である。

脈々と受け継がれてきた伝統と職人の技。豊岡にはかばんの町といわれる大きな所以があった。

「これだ」と、メンバーの誰もが思った。行き着いた場所は自分たちのルーツだった。

「豊岡で育まれ、ものづくりと長い歴史と、職人の技術が生んだ優れた鞆を、消費者に安心して使って頂く」。こうして、歴史と伝統に裏打

ちされた「豊岡鞆」の新しいコンセプトが掲げられた。

また、同時に進められていた参加マニュアルについても熱い議論が交わされた。ブランドを維持するために、どうしても厳しいマニュアル作りが必要となる。

しかし、「豊岡鞆」として認定される基準を厳しくすれば、規模の小さな企業は二の足を踏みかねない。

「一社でも多くの企業が参加して欲しいと思う反面、認定基準を落とせば、消費者の信頼を失う可能性も高まる。胃の痛い会議が続きました」と、メンバーは当時は振り返る。

一転、三転とした認定基準は結局、運用した現在でも半分しか通らない厳しいものとなった。

決め手は、一番最初に誰もが思っていた「豊岡の鞆産業を何とかしたい」という気持ち。「豊岡鞆」のブランド、品質を維持するためには、やむを得ない選択だった。そこには厳しい時代へ立ち向かう決意が込められていた。

待ち受ける狭き門

学識者や特許の専門家を交え、思考錯誤の末に完成した運用マニュアル。平成18年4月、満を持して、出願書類が特許庁に提出された。

固唾をのんで結果を待つメンバー。

猫崎半島(兵庫県豊岡市竹野町)



パソコンで、身近な電話で、携帯電話で手軽にバンキング

たんぎん (インターネット)バンキング
 (テレホン)バンキング
 (モバイル)

詳しくは、たんぎんダイレクト営業センター(01-20-164-230)までお問い合わせください。

Together With You

地域とともに発展する

但馬銀行



細かなパーツも熟練した職人による手仕事で行われる。



粹入れ・鉸打ちなどの最後の仕上げ作業。



熟練縫製者が、ひと目ひと目丁寧に縫い上げる。



デザイン・素材・縫製など、厳しい基準をクリアした製品だけが、兵庫県靴工業組合より、地域ブランド「豊岡靴」のタグを付けることを許される。

次の一手へ向けて

4月の段階で地域ブランドに出願されたのは、374件。その内、第1号として登録が認められたのは、わずか52件という狭き門だった。その中に兵庫県では第1号、工業製品として唯一登録された「豊岡靴」の名があった。地域としての特徴を示すことが難しいとされる工業製品での登録。まさに、千年の歴史と伝統がつかみ得た勝利であった。

地域ブランド登録をきっかけに、オリジナル商品の開発に踏み切った豊岡の靴業界。「豊岡靴」の認知度は、靴業界を中心に予想を上回る勢いで広まっている。

「今までいわれたものを作ることが多かったですから、ブランドを浸透させ、どのように運用していくかを

考えるのは、初めてのことでした。大変でしたが、豊岡靴の可能性が広がったと思います。そして、何より出合いが広がったことが一番大きいですね」と、植村氏。

今まで豊岡が靴の産地であることを知らなかった小売店のバイヤーが、商談を持ちかけてくることもあり、新規のOEMの依頼も増えたという。製品に対する末端の意見も直接耳に入ってくるが多くなり、モノ作りに対しても気が抜けないという波及効果も生み出した。

順調に滑り出した「豊岡靴」ブランドの取り組み。しかし、運営していくにあたって新たな課題も見つかった。認知度が上がるにつれて、消費者から「どこで豊岡靴が買えるの?」という問い合わせが多くなった。商品のプレゼンもしたことがなか

った職人集団。現在、売れるためのシステム作りに汗を流している。

さらに、来年の新作発表会に向けて、新たにデザイン事業を起ち上げた。今まで「豊岡靴」といっても、デザインや素材に明確な統一感はなく、各社それぞれが得意とする靴を発表していた。ブランドイメージを統一した「豊岡靴」の次の一手に向けて、関係者の気持ちもさらに高まっている。

「モノ作り」から「モノ創り」へと舵を切った、「豊岡靴」の地域ブランドプロジェクト。靴作りにかける職人たちの挑戦はまだまだ続く。

協力：兵庫県靴工業組合「豊岡靴」地域ブランド委員会、豊岡靴協会
●じばさんT.A.J.I.M.Aでは、「豊岡靴」認定製品を展示即売しています。豊岡市大磯町1-79-9 17時・年末年始休業(問)0796-24-5551

大人のあなたに…
愉しいきもの



おしゃれきもの
野木纏家

京都府京丹后市大宮町口大野173番地
電話:0772-64-2241
営業時間:10:00~19:00 定休日:水曜日
(のぎまとや) <http://www.nogimatoya.jp/>

野のぎまとや
木纏家のテーマは
おしゃれきもの



日本の各地には、その地方の伝統の技を受け継ぎそこに新しい感性を注ぐことによって「身に纏うことで価値が生まれる、現代のお洒落のためのきもの」を創作している創り手がまだまだいらっしゃいます。そのような信頼ができる創り手の品物を探して全国を訪ねてまわり、実際に着ていただいてお洒落を楽しんでいただくことができる「嘘のない商品」を、丁寧にご紹介し提供していきたいよう努力を続けています。

◀ 東沙ぼかし袋帯